

ゴールドマン・サックス
米国REITファンド

愛称：コロブスの卵

Cコース（年1回決算型、為替ヘッジあり）

Dコース（年1回決算型、為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／不動産投信

Cコース	第11期末(2024年10月23日)		第11期	
	基準価額	11,598円	騰落率	22.7%
純資産総額	164百万円	分配金合計	0円	

Dコース	第11期末(2024年10月23日)		第11期	
	基準価額	22,920円	騰落率	32.6%
純資産総額	824百万円	分配金合計	0円	

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	原則として無期限
運用方針	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場(NASDAQ)において取引されているREIT(不動産投資信託)への分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	米国REITマザーファンドの受益証券
米国REITマザーファンド	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場(NASDAQ)において取引されているREIT(不動産投資信託)
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②実質外貨建資産については、Cコースでは、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とし、Dコースでは、原則として為替ヘッジを行いません。 ③本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。
分配方針	原則として毎計算期末(毎年10月23日。休業日の場合は翌営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

第11期(決算日2024年10月23日)

作成対象期間:2023年10月24日～2024年10月23日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ゴールドマン・サックス 米国REITファンド Cコース/Dコース」は、このたび、第11期の決算を行いました。本ファンドは、米国のリートを主要投資対象として、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー

お問合せ先: 03-4587-6000(代表)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

ゴールドマン・サックス 米国REITファンドCコース（年1回決算型、為替ヘッジあり）
（以下、「Cコース（為替ヘッジあり）」といいます。）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 引 前 分 配 金	期 中 騰 落 率	参 考 指 標	期 中 騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
7期 (2020年10月23日)	9,925	0	△25.4	13,560	△18.2	96.3	261
8期 (2021年10月25日)	13,867	0	39.7	19,495	43.8	96.8	236
9期 (2022年10月24日)	10,131	0	△26.9	14,829	△23.9	95.4	151
10期 (2023年10月23日)	9,449	0	△6.7	14,165	△4.5	95.9	163
11期 (2024年10月23日)	11,598	0	22.7	18,586	31.2	98.8	164

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ヘッジ・ベース)) は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 標	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率
(期 首) 2023年10月23日	9,449	—	14,165	—	95.9
10月末	9,334	△1.2	13,857	△2.2	95.6
11月末	10,389	9.9	15,346	8.3	93.8
12月末	11,375	20.4	17,166	21.2	95.1
2024年1月末	10,789	14.2	16,339	15.3	96.5
2月末	10,724	13.5	16,315	15.2	98.5
3月末	10,860	14.9	16,672	17.7	99.1
4月末	10,074	6.6	15,681	10.7	96.6
5月末	10,181	7.7	15,791	11.5	97.2
6月末	10,475	10.9	16,296	15.0	100.0
7月末	11,169	18.2	17,515	23.7	93.2
8月末	11,543	22.2	18,257	28.9	96.9
9月末	11,785	24.7	18,748	32.4	97.0
(期 末) 2024年10月23日	11,598	22.7	18,586	31.2	98.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ヘッジ・ベース)) は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

ゴールドマン・サックス 米国REITファンドDコース（年1回決算型、為替ヘッジなし）
（以下、「Dコース（為替ヘッジなし）」といいます。）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 引 前 分 配 金	期 騰 落 中 率	参 考 指 標	期 騰 落 中 率	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
7期 (2020年10月23日)	11,809	0	△27.5	15,541	△20.5	97.1	543
8期 (2021年10月25日)	17,922	0	51.8	24,417	57.1	98.4	848
9期 (2022年10月24日)	17,430	0	△ 2.7	24,588	0.7	96.5	800
10期 (2023年10月23日)	17,290	0	△ 0.8	24,761	0.7	97.3	727
11期 (2024年10月23日)	22,920	0	32.6	34,558	39.6	97.0	824

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 標	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率
(期 首) 2023年10月23日	17,290	—	24,761	—	97.3
10月末	17,053	△ 1.4	24,184	△ 2.3	96.8
11月末	18,766	8.5	26,469	6.9	98.1
12月末	19,990	15.6	28,557	15.3	97.8
2024年 1月末	19,833	14.7	28,512	15.1	98.3
2月末	20,217	16.9	29,211	18.0	97.6
3月末	20,680	19.6	30,129	21.7	98.4
4月末	20,039	15.9	29,480	19.1	97.5
5月末	20,337	17.6	29,792	20.3	96.6
6月末	21,577	24.8	31,725	28.1	98.1
7月末	21,891	26.6	32,394	30.8	97.4
8月末	21,643	25.2	32,243	30.2	98.2
9月末	21,893	26.6	32,744	32.2	97.9
(期 末) 2024年10月23日	22,920	32.6	34,558	39.6	97.0

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

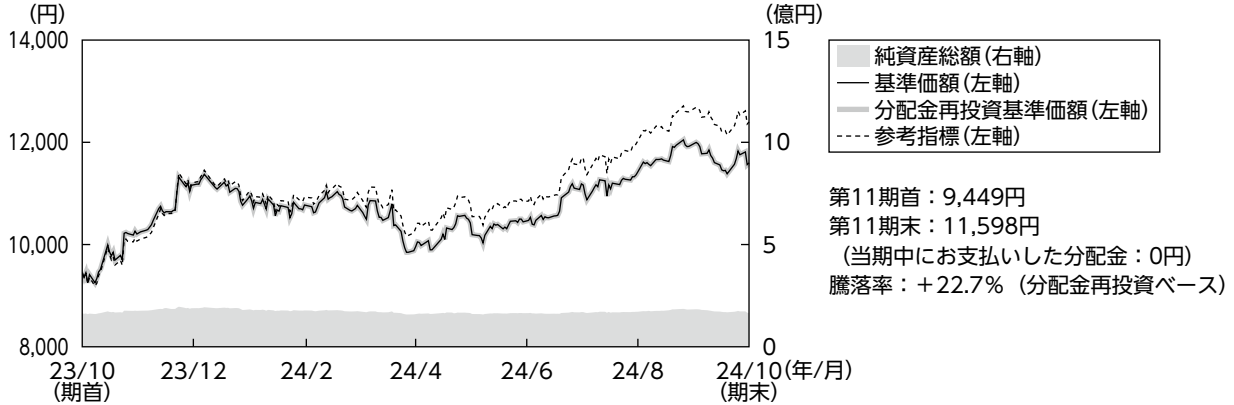
(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

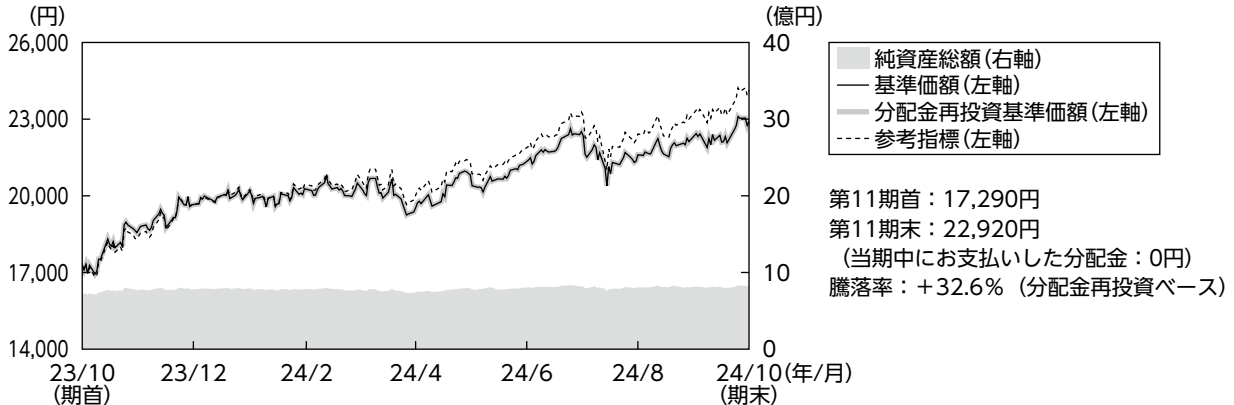
■運用経過

◆基準価額等の推移について (2023年10月24日～2024年10月23日)

○Cコース (為替ヘッジあり)



○Dコース (為替ヘッジなし)



(注1) 参考指標は、Cコース (為替ヘッジあり) はMSCI米国REITインデックス (円ヘッジ・ベース)、Dコース (為替ヘッジなし) はMSCI米国REITインデックス (円ベース) であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者 (以下総称して「MSCI当事者」といいます) は、MSCIの情報について一切の保証 (獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません) を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害 (逸失利益を含みます) およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

◆基準価額の主な変動要因

- Cコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の9,449円から2,149円上昇し、期末には11,598円となりました。
- Dコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の17,290円から5,630円上昇し、期末には22,920円となりました。
(以下、2ファンドを総称して本ファンドということがあります。)

上昇要因

ウェルタワーやエクストラ・スペース・ストレージが保有期間中に上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。Dコース（為替ヘッジなし）においては、米ドルが対円で上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

レックスフォード・インダストリアル・リアルティやホスト・ホテル・アンド・リゾートが保有期間中に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

◆投資環境について

<米国リート市場>

粘着的なインフレ環境を受けて高金利政策が継続しましたが、インフレ圧力の低下に伴う利下げ観測が市場を後押しし、米国リート市場は堅調に推移しました。

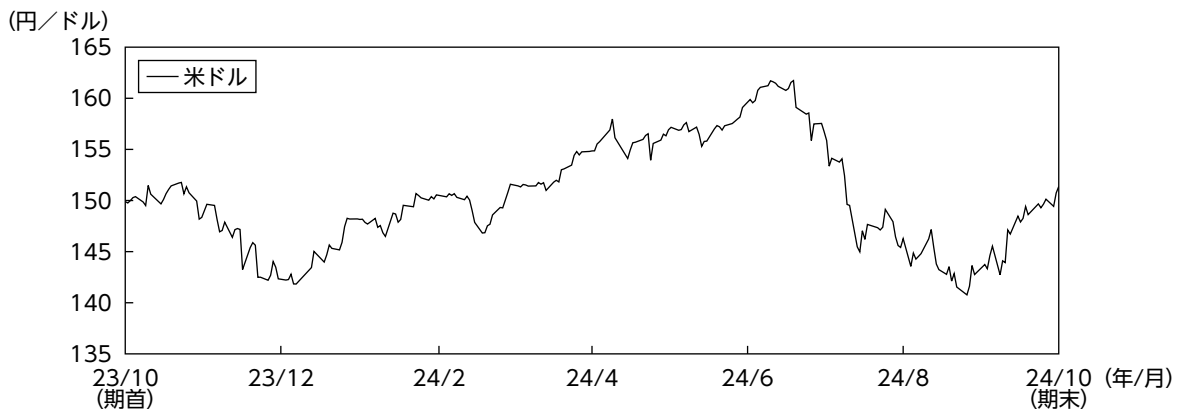
期の序盤は、強い反発となりました。高金利政策の長期化懸念が台頭していたのに対して、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが見送られたことで金融引き締めの打ち止め観測が広がり、その後発表された雇用統計や物価関連指標もインフレ鈍化シナリオを追認する結果となり、長期金利の低下を好感して株式市場と米国リート市場は力強く上昇しました。米地銀の決算発表の一部に商業用不動産の厳しい事業環境が示され、嫌気される場面もありましたが、経済活動の回復期待やAI（人工知能）関連企業の好決算を受けてデータセンターを筆頭に関連する不動産セクターが下支えとなりました。

期中盤は、横ばいで推移しました。原油などコモディティ相場の回復が目立つなか、消費者物価指数など物価関連指数がインフレの粘着性を示唆したことで、金融政策を巡っては利下げの先送り観測が台頭し、長期金利は利上げ打ち止め期待が浮上した2023年11月の水準まで急上昇するなど、米国リート市場にとっては厳しい環境となりました。

期の終盤は、堅調に推移しました。ISM（米サプライマネジメント協会）が発表した製造業および非製造業景況感指数や雇用統計が失業率の上昇を伴って悪化するなど、米国経済の成長懸念が高まり、リセッション（景気後退）入りも警戒される環境となりました。株式市場全体は急速なポジション調整を挟む一方で、米国リート市場はリセッション回避に向けた早期の利下げ期待が後押しする展開となりました。2024年9月のFOMCでは0.5%の大幅利下げが決定されたほか、雇用環境の下振れ回避に向けた金融当局の明確な意志が確認されたことも好感され、米国リート市場は堅調に推移し、前期末比で上昇しました。

<外国為替市場>

当期は、米ドルは円に対して上昇しました。



出所：一般社団法人投資信託協会

◆ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは米国REITマザーファンドを概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。また、Cコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。

<本マザーファンド>

当期中の主なポジションとしては、社会生活の変化を追い風に構造的な成長が展望できるビジネスモデルを有するセクターをオーバーウェイトとした一方で、対照的に事業環境の悪化が見込まれるセクターをアンダーウェイトとしました。

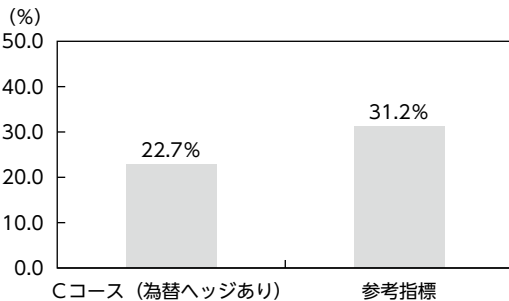
当期においてウェルタワーやエクストラ・スペース・ストレージが保有期間中に上昇したことなどがプラス寄与となりました。一方、レックスフォード・インダストリアル・リアルティやホスト・ホテル・アンド・リゾートが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

◆ベンチマークとの差異について

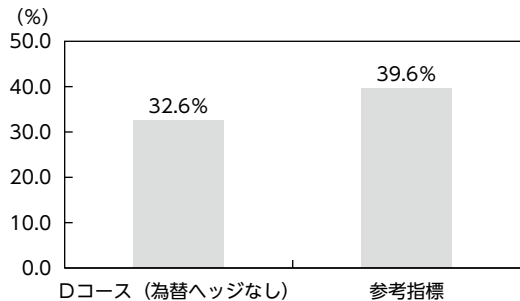
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>

○Cコース（為替ヘッジあり）



○Dコース（為替ヘッジなし）



（注1）各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）参考指標は、Cコース（為替ヘッジあり）はMSCI米国REITインデックス（円ヘッジ・ベース）、Dコース（為替ヘッジなし）はMSCI米国REITインデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

当期のCコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+22.7%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+31.2%となりました。Dコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+32.6%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+39.6%となりました。

◆分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期は、Cコース（為替ヘッジあり）およびDコース（為替ヘッジなし）の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

今後の運用方針について

<本ファンド>

引き続き本マザーファンド受益証券を概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、Cコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざします。

<本マザーファンド>

米国リート市場において、当社では不動産の需給環境や資金調達環境などを注視しています。2023年は利上げの継続、据え置きを含む金融引き締めが2年目を迎え、インフレ指標にはピークアウトの兆しが見られた一方で、米地銀の経営破綻など政策の影響が随所に顕在化しました。ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエルとハマスの武力衝突など地政学上の懸念材料が断続的に意識されるなか、製造拠点の国内回帰やAI（人工知能）の発展といった新たなテーマが意識されました。2024年に入り、米国リート市場は高金利を受けた景気サイクルに基づく需給動向の変化と、オフィスを筆頭に構造的な需要低下が並行するなか、上値の重い展開が続きましたが、足元では金融政策面で緩和への政策転換が意識されるようになり、持ち直しの兆しもみられます。ただし、金融引き締めによる経済の下押し効果は続くことから、リート市場全体の回復というよりは、不動産の立地やテナントのファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）の違いによる選別色が依然強いと思われ、需給環境を踏まえたクオリティ重視の銘柄選択が重要だと考えています。

当社では、中長期的に、相対的に高い配当利回り、成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの利点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネスモデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する企業に焦点を当てて投資します。

（上記見通しは2024年10月23日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

Cコース（為替ヘッジあり）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023年10月24日～2024年10月23日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	169円 (88)	1.573% (0.825)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(71)	(0.660)	
(受託会社)	(9)	(0.088)	
売買委託手数料 (投資信託証券)	5 (5)	0.044 (0.044)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	6 (0) (5) (0)	0.055 (0.002) (0.050) (0.003)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	180	1.673	

期中の平均基準価額は10,724円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

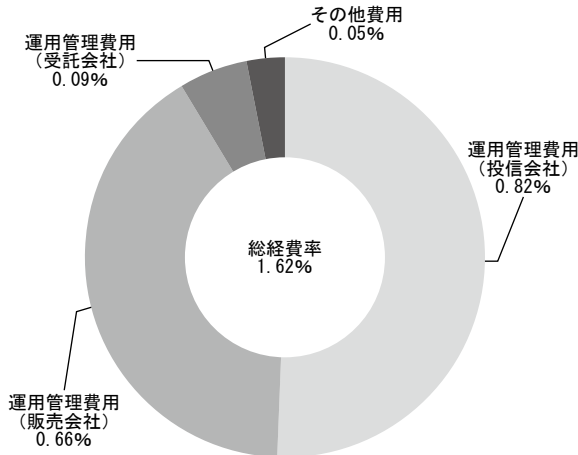
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.62%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2023年10月24日から2024年10月23日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 7,270	千円 29,088	千口 18,286	千円 73,813

■利害関係人との取引状況等（2023年10月24日から2024年10月23日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2024年10月23日現在）

親投資信託残高

種 類	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 47,617	千口 36,601	千円 164,800

■投資信託財産の構成

2024年10月23日現在

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 164,800	% 94.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,923	5.1
投 資 信 託 財 産 総 額	173,723	100.0

(注1) 米国REITマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（71,467,908千円）の投資信託財産総額（71,468,011千円）に対する比率は100.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=151.37円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2024年10月23日
(A) 資 産	337,231,781円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	8,922,259
米国REITマザーファンド(評価額)	164,800,977
未 収 入 金	163,508,510
未 収 利 息	35
(B) 負 債	172,238,265
未 払 金	165,894,735
未 払 解 約 金	4,974,547
未 払 信 託 報 酬	1,326,919
そ の 他 未 払 費 用	42,064
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	164,993,516
元 本	142,261,187
次 期 繰 越 損 益 金	22,732,329
(D) 受 益 権 総 口 数	142,261,187口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	11,598円

■損益の状況

項 目	当 期
	自 2023年10月24日 至 2024年10月23日
(A) 配 当 等 収 益	1,140円
受 取 利 息	2,335
支 払 利 息	△ 1,195
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	29,942,616
売 買 益	78,235,993
売 買 損	△48,293,377
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,812,789
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	27,130,967
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△26,837,779
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	22,439,141
(配 当 等 相 当 額)	(44,509,315)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△22,070,174)
(G) 計 (D + E + F)	22,732,329
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	22,732,329
追 加 信 託 差 損 益 金	22,439,141
(配 当 等 相 当 額)	(44,623,964)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△22,184,823)
分 配 準 備 積 立 金	22,955,384
繰 越 損 益 金	△22,662,196

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

(注5) 期首元本額は172,879,017円、当作成期間中において、追加設定元本額は29,350,662円、同解約元本額は59,968,492円です。

Dコース（為替ヘッジなし）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023年10月24日～2024年10月23日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	320円 (168)	1.573% (0.825)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(134)	(0.660)	
(受託会社)	(18)	(0.088)	
売買委託手数料 (投資信託証券)	9 (9)	0.043 (0.043)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	11 (0) (6) (5)	0.052 (0.002) (0.027) (0.023)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	340	1.669	

期中の平均基準価額は20,326円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

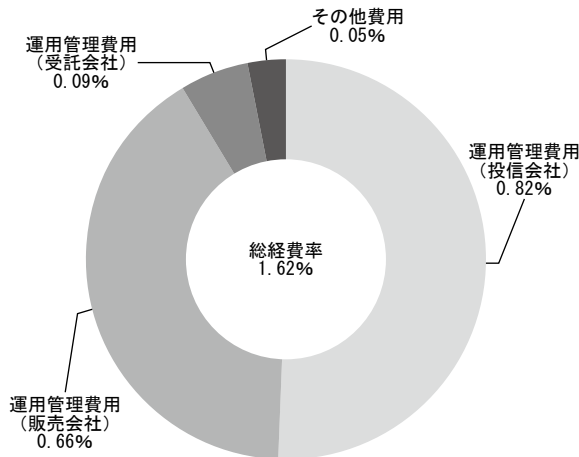
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.62%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2023年10月24日から2024年10月23日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 7,645	千円 31,110	千口 43,317	千円 173,350

■利害関係人との取引状況等（2023年10月24日から2024年10月23日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2024年10月23日現在）

親投資信託残高

種 類	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 215,225	千口 179,553	千円 808,458

■投資信託財産の構成

2024年10月23日現在

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 808,458	% 97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	22,994	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	831,452	100.0

(注1) 米国REITマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（71,467,908千円）の投資信託財産総額（71,468,011千円）に対する比率は100.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=151.37円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2024年10月23日
(A) 資 産	831,452,787円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	22,994,220
米国REITマザーファンド(評価額)	808,458,476
未 収 利 息	91
(B) 負 債	7,047,482
未 払 解 約 金	563,183
未 払 信 託 報 酬	6,284,824
そ の 他 未 払 費 用	199,475
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	824,405,305
元 本	359,686,610
次 期 繰 越 損 益 金	464,718,695
(D) 受 益 権 総 口 数	359,686,610口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	22,920円

■損益の状況

項 目	当 期
	自 2023年10月24日 至 2024年10月23日
(A) 配 当 等 収 益	4,888円
受 取 利 息	7,369
支 払 利 息	△ 2,481
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	194,061,369
売 買 益	232,878,649
売 買 損	△ 38,817,280
(C) 信 託 報 酬 等	△ 12,768,918
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	181,297,339
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	25,794,542
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	257,626,814
(配 当 等 相 当 額)	(201,170,441)
(売 買 損 益 相 当 額)	(56,456,373)
(G) 計 (D + E + F)	464,718,695
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	464,718,695
追 加 信 託 差 損 益 金	257,626,814
(配 当 等 相 当 額)	(201,544,036)
(売 買 損 益 相 当 額)	(56,082,778)
分 配 準 備 積 立 金	207,091,881

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

(注5) 期首元本額は421,000,857円、当作成期間中において、追加設定元本額は78,151,087円、同解約元本額は139,465,334円です。

■分配原資の内訳

Cコース（年1回決算型、為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 11 期
	2023年10月24日～2024年10月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,750

Dコース（年1回決算型、為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 11 期
	2023年10月24日～2024年10月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,920

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

米国REITマザーファンド

親投資信託

第42期（決算日2024年10月23日）

作成対象期間：2024年4月24日～2024年10月23日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。法令・諸規則に基づき、親投資信託（マザーファンド）の期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場（NASDAQ）において取引されているREIT（不動産投資信託）への分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場（NASDAQ）において取引されているREIT（不動産投資信託）
組入制限	①投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額		参考指標		投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
	円	騰 落 率 %		騰 落 率 %		
38期 (2022年10月24日)	32,931	△18.1	57,577	△15.3	98.1	74,741
39期 (2023年4月24日)	32,578	△1.1	56,231	△2.3	96.9	70,013
40期 (2023年10月23日)	33,292	2.2	57,982	3.1	98.9	64,651
41期 (2024年4月23日)	38,012	14.2	67,130	15.8	98.7	65,803
42期 (2024年10月23日)	45,026	18.5	80,923	20.5	98.9	71,468

(注) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2003年10月27日を10,000として指数化しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基準価額		参考指標		投 資 信 託 証 券 比 率
	円	騰 落 率 %		騰 落 率 %	
(期 首) 2024年4月23日	38,012	—	67,130	—	98.7
4月末	39,030	2.7	69,031	2.8	98.7
5月末	39,657	4.3	69,762	3.9	98.8
6月末	42,159	10.9	74,289	10.7	98.7
7月末	42,829	12.7	75,857	13.0	98.4
8月末	42,391	11.5	75,501	12.5	99.3
9月末	42,947	13.0	76,676	14.2	98.7
(期 末) 2024年10月23日	45,026	18.5	80,923	20.5	98.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2003年10月27日を10,000として指数化しております。

■運用経過

◆基準価額の推移について

(2024年4月24日～2024年10月23日)



◆基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の38,012円から7,014円上昇し、期末には45,026円となりました。

上昇要因

米国リート市場（米ドルベース）が上昇したことや、ウェルタワースやプロロジスが保有期間中に上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

レックスフォード・インダストリアル・リアルティやパーク・ホテルズ・アンド・リゾーツが保有期間中に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

◆投資環境について

<米国リート市場>

米国リート市場は上昇しました。地政学リスクや米国経済の成長懸念が意識されるなか、金融政策の利下げ期待を織り込む過程で米国リート市場は堅調に推移しました。

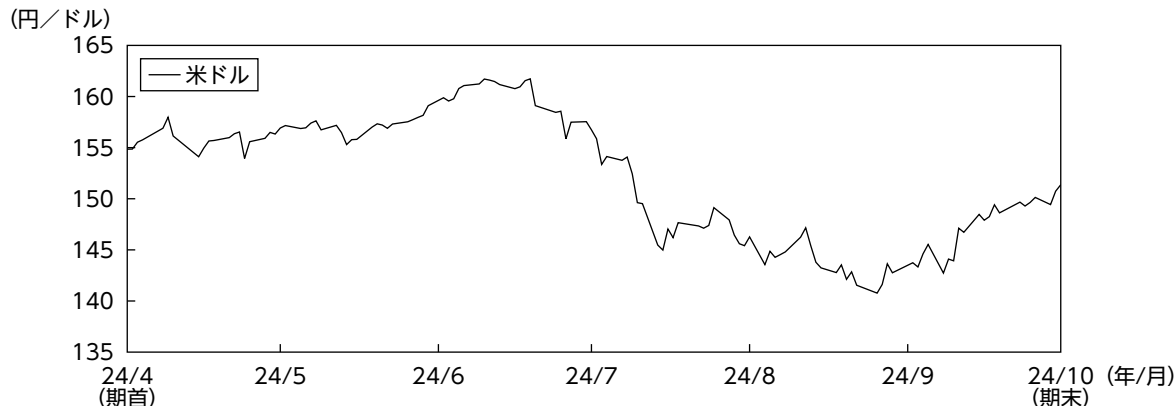
期の序盤は、消費者物価指数など物価関連指標にはインフレの粘着性がみられたほか、原油や穀物などコモディティ市況に回復がみられたことから、米国金利の上昇に合わせてやや軟調な滑り出しとなりました。その後は、政策当局者からの利下げを巡る発言に一喜一憂する展開となりました。

期の中盤は、ISM（米サプライマネジメント協会）が発表した製造業および非製造業景況感指数や雇用統計が失業率の上昇を伴って悪化するなど、米国経済の成長懸念が高まり、リセッション（景気後退）入りも警戒される環境となりました。株式市場全体は急速なポジション調整を挟む一方で、米国リート市場はリセッション回避に向けた早期の利下げ期待が後押しする展開となり、FRB（米連邦準備制度理事会）パウエル議長からも金融政策を調整する時期との発言がサポートとなり大きく上昇しました。

期の終盤もおおむね堅調に推移しました。経済指標は好悪混合のまだら模様となるなか、9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では0.5%の大幅利下げが決定されたほか、雇用環境の下振れ回避に向けた金融当局の明確な意志が確認されたことも好感されました。その後、経済指標が強含んだほか、大統領選挙でトランプ候補が優勢との報道が伝わり金利が上昇した局面で米国リート市場は下落しましたが、期間を通じておおむね堅調に推移し、前期末比で上昇しました。

<外国為替市場>

当期は、米ドルは円に対して下落しました。



◆ポートフォリオについて

当期中の主なポジションとしては、社会生活の変化を追い風に構造的な成長が展望できるビジネスモデルを有するセクターをオーバーウェイトとした一方で、対照的に事業環境の悪化が見込まれるセクターをアンダーウェイトとしました。

当期においてウェルタワースやプロロジスが保有期間中に上昇したことなどがプラス寄与となりました。一方、レックスフォード・インダストリアル・リアルティやパーク・ホテルズ・アンド・リゾーツが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

◆ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。当期の本ファンドのパフォーマンスは、+18.5%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+20.5%となりました。

今後の運用方針について

米国リート市場において、当社では不動産の需給環境や資金調達環境などを注視しています。2023年は利上げの継続、据え置きを含む金融引き締めが2年目を迎え、インフレ指標にはピークアウトの兆しが見られた一方で、米地銀の経営破綻など政策の影響が随所に顕在化しました。ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエルとハマスの武力衝突など地政学上の懸念材料が断続的に意識されるなか、製造拠点の国内回帰やAI（人工知能）の発展といった新たなテーマが意識されました。2024年に入り、米国リート市場は高金利を受けた景気サイクルに基づく需給動向の変化と、オフィスを筆頭に構造的な需要低下が並行するなか、上値の重い展開が続きましたが、足元では金融政策面で緩和への政策転換が意識されるようになり、持ち直しの兆しもみられます。ただし、金融引き締めによる経済の下押し

効果は続くことから、リート市場全体の回復というよりは、不動産の立地やテナントのファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）の違いによる選別色が依然強いと思われ、需給環境を踏まえたクオリティ重視の銘柄選択が重要だと考えています。

当社では、中長期的に、相対的に高い配当利回り、成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの利点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネスモデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する企業に焦点を当てて投資します。

（上記見通しは2024年10月23日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2024年4月24日～2024年10月23日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (投資信託証券)	6円 (6)	0.016% (0.016)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (その他)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	6	0.017	

期中の平均基準価額は41,502円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2024年4月24日から2024年10月23日まで)

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	百口	千米ドル	百口	千米ドル
		10,586	43,114	12,770	76,191

(注) 金額は受渡し代金。

■主要な売買銘柄（2024年4月24日から2024年10月23日まで）
投資信託証券

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	柄	口	金額	銘柄	柄	口	金額
		千口	千円			千口	千円
REXFORD INDUSTRIAL REALTY IN		197	1,445,223	PROLOGIS INC		86	1,602,295
KILROY REALTY CORP		196	1,134,197	EXTRA SPACE STORAGE INC		46	1,152,040
HOST HOTELS & RESORTS INC		364	1,069,735	PARK HOTELS & RESORTS INC		409	973,365
PROLOGIS INC		36	607,696	PUBLIC STORAGE		13	621,338
PUBLIC STORAGE		8	427,055	EASTGROUP PROPERTIES INC		21	580,612
LINEAGE INC		27	332,815	AMERICAN TOWER CORP		18	578,742
INVITATION HOMES INC		60	311,394	AMERICOLD REALTY TRUST INC		135	553,115
VICI PROPERTIES INC		42	190,296	VICI PROPERTIES INC		115	542,359
BXP INC		16	158,398	SBA COMMUNICATIONS CORP		15	525,224
KIMCO REALTY CORP		43	135,877	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT		27	497,801

(注) 金額は受渡し代金。

■利害関係人との取引状況等（2024年4月24日から2024年10月23日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2024年10月23日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当期			比率
	口数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
不動産ファンド	百口	千米ドル	千円	%
(アメリカ…ニューヨーク市場)				
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	1,122	13,240	2,004,175	2.8
AMERICAN HOMES 4 RENT- A	2,996	11,434	1,730,914	2.4
AMERICAN TOWER CORP	795	17,622	2,667,477	3.7
AMERICOLD REALTY TRUST INC	2,866	7,533	1,140,414	1.6
AVALONBAY COMMUNITIES INC	940	21,145	3,200,756	4.5
BXP INC	1,410	12,250	1,854,288	2.6
COUSINS PROPERTIES INC	2,470	7,671	1,161,283	1.6
DIGITAL REALTY TRUST INC	1,472	24,330	3,682,920	5.2
EASTGROUP PROPERTIES INC	826	14,894	2,254,563	3.2
EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	1,796	12,340	1,867,950	2.6
EQUITY RESIDENTIAL	773	5,738	868,665	1.2
ESSEX PROPERTY TRUST INC	359	10,558	1,598,297	2.2
EXTRA SPACE STORAGE INC	1,299	21,598	3,269,415	4.6
FEDERAL REALTY INVS TRUST	915	10,470	1,584,982	2.2
INVITATION HOMES INC	4,756	16,180	2,449,194	3.4
KILROY REALTY CORP	1,921	8,068	1,221,347	1.7
KIMCO REALTY CORP	6,315	15,182	2,298,140	3.2
PROLOGIS INC	3,029	36,028	5,453,683	7.6
PUBLIC STORAGE	816	27,334	4,137,571	5.8
REXFORD INDUSTRIAL REALTY IN	1,929	8,614	1,303,997	1.8
RYMAN HOSPITALITY PROPERTIES	804	8,632	1,306,628	1.8
SUN COMMUNITIES INC	352	4,764	721,195	1.0
TERRENO REALTY CORP	1,683	10,659	1,613,533	2.3
UDR INC	2,632	11,653	1,764,057	2.5
VENTAS INC	2,528	16,398	2,482,268	3.5
VICI PROPERTIES INC	6,284	20,593	3,117,201	4.4
WELLTOWER INC	2,641	34,362	5,201,411	7.3
(アメリカ…米国店頭市場)				
EQUINIX INC	464	40,765	6,170,621	8.6
HOST HOTELS & RESORTS INC	3,525	6,201	938,669	1.3
SBA COMMUNICATIONS CORP	437	10,557	1,598,140	2.2
合計	60,169	466,828	70,663,768	<98.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は純資産総額に対する比率。

■投資信託財産の構成

2024年10月23日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	70,663,769	98.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	804,242	1.1
投 資 信 託 財 産 総 額	71,468,011	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(71,467,908千円)の投資信託財産総額(71,468,011千円)に対する比率は100.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=151.37円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2024年10月23日
(A) 資 産	71,468,011,125円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	751,999,294
投 資 証 券(評価額)	70,663,769,002
未 収 配 当 金	52,242,829
(B) 純 資 産 総 額(A)	71,468,011,125
元 本	15,872,758,168
次 期 繰 越 損 益 金	55,595,252,957
(C) 受 益 権 総 口 数	15,872,758,168口
1万口当たり基準価額(B/C)	45,026円

■損益の状況

項 目	当 期
	自 2024年4月24日 至 2024年10月23日
(A) 配 当 等 収 益	1,076,041,688円
受 取 配 当 金	1,076,036,446
受 取 利 息	5,242
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	10,737,344,798
売 買 益 損	12,570,668,771
売 買 損	△ 1,833,323,973
(C) そ の 他 費 用 等	△ 632,127
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	11,812,754,359
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	48,492,058,991
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	334,468,488
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 5,044,028,881
(H) 計 (D+E+F+G)	55,595,252,957
次 期 繰 越 損 益 金(H)	55,595,252,957

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注4) 期首元本額は17,310,975,367円、当作成期間中において、追加設定元本額は104,228,691円、同解約元本額は1,542,445,890円です。

(注5) 元本の内訳

ゴールドマン・サックス	米国REITファンドBコース (毎月分配型、為替ヘッジなし)	14,208,589,555円
ゴールドマン・サックス	米国REITファンドAコース (毎月分配型、為替ヘッジあり)	1,448,013,624円
ゴールドマン・サックス	米国REITファンドDコース (年1回決算型、為替ヘッジなし)	179,553,697円
ゴールドマン・サックス	米国REITファンドCコース (年1回決算型、為替ヘッジあり)	36,601,292円